

**「ユネスコ」とは**

国際連合教育科学文化機関。教育、科学、文化とコミュニケーションの分野で協力と交流を通じて国際平和と人類の福祉の増進を目指す国際連合の専門機関。

# 原爆ドーム世界遺産化運動 署名一六〇万名、参院採択

広島ユネスコ協会は昨年6月「原爆ドームの世界遺産化をすすめる会」を広島弁護士会などと共に結成して百万人署名運動を展開し、全国的な反響と賛同のもとに目標を突破。この成果をもとに昨年10月14日、「会」の代表、古田隆規広島弁護士会会長当協会信井正事務局長らが、土井衆議院、原参議院両議長に一三四万名の署名を手渡すとともに武村官房長官、内田文化庁長官らに会って要請しました。その後署名は一六〇万名に達し、国会に提出しました。



議員の紹介により、各党協議を経て受理され、第二八臨時国会で衆・参文教委に付託され、会期末の1月27日開会の参議院文教委員会で全会一致で採択され、その翌日参議院本会議で全会一致で採択されました。衆議院での扱いは「学術的評価が定まっていない」とする一部理事の意見で慣例の全会一致

が得られず保留となりました。今後は参議院での採択を受けて文部省(文化庁)は参議院議長に対して見解を明らかにするよう求められることになりました。広島市も終戦五十年を迎える明年度予算の主要事業の一つとして原爆ドームの世界遺産条約への登録を挙げており、当協会

としてもその実現へ向けて活動を進めます。なお、ユネスコ側の動きは次のとおりです。広島ユ協が昨年6月日ユ協連総会に「原爆ドームの世界遺産リスト化実現への要請」を提案し、採択。日ユ協連は、9月理事会で「その実現に積極的に協力していく」ことを全会一致で決定し、広島市の「遺産化推進委員会」の委員として平山郁夫副会長ら三人を推薦。広島市と協力して政府への働きかけを決定。

## 文部省、広ユ協の研究を指定

広島ユネスコ協会の今年の課題は、広島で開かれるアジア競技大会への対応です。現在、広島は大会開催を控えて「官・民」問わずその受け入れに腐心・苦心の最中です。そこで当協会は、どのようなスタンスでアジア大会を迎えるのか。その方針の確立が求められていました。

ところが、ここへきて当協会がアクションを起こす契機ともすべき一通の通知書が1

月末、当協会に届きました。文部省学術国際局国際企画課からのものです。「貴団体を平成5、6年度の国際理解のための活動に関する調査研究団体に指定します」

付けられています。ここに至る経過を説明しておきます。実は、この話は天から降ってきたものではなく昨年、文部省からの提起(本紙前号記載)に応じて、当協会事務局が、既に展開されていた公民館の一館一館運動とユネスコ活動の接点を求める試みを案にして名乗り出たものが認められて、今回の通知書として返ってきたものです。

「課題は、アジア諸国・地域の相互理解と友好促進を図るためのユネスコ活動の目的、内容、方法と公民館活動とのネットワーク等に関する調査研究」

指定期間は今年1月～来年度末となっており、調査研究費も

これにより当協会としてはプロジェクトを組んで調査研究を進めることになりました。

### 国際色豊かに……

## '93ペアセロベ開く

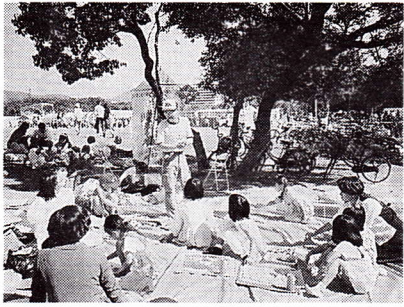
理事 国田 繁

今年で十周年を迎えたペアセロベが、昨年の10月11日に中央公園において盛大に開催されました。

毎年30カ国以上の国々からの参加を得、とくに、今年はずいぶん大会のレベルアップとして広島城公園においても「広島ふあんだアジア」が一緒になって盛大に行われました。会場はフ

ィールドの中に特別のステージを設け、その周りに、29の各コーナーが設置されました。

この日は好天に恵まれ、ステージでは、和太鼓やコーラス、



大極拳、琴、尺八、けん玉、中近東の踊りなどが紹介され、また、各コーナーでは、書道、いけ花、お茶席など日本の文化を紹介する「文化コーナー」や「子供

のコーナー」、バンングラディシユ、マレーシア、インドネシアの自慢料理や民芸品販売など

アジアの文化を紹介、また南アメリカコーナーを紹介した「食べもの・ふれあいコーナー」「スクエアダンスコーナー」もあり賑わいました。

広島ユネスコ協会では、子供

のコーナーを担当しました。日本風の会員の松本興二郎さん

にアジア競技大会マスコットキ

## 地域リーダー養成講座・参加報告

玉置 和弘

去る12月10・12日、山口において行われました「地域リーダー養成講座」に出席しましたので報告をします。

今回のテーマは、ユネスコが何をすべきかということから一歩離れて、「個人」に焦点を当てて、個人が主体的に活動して行くために、個性を大切に

研修会でありました。初日は、本間氏の「元気が出る話」から始まりまし

た。豊富な経験と知識からく

ヤラクターのポツポツとクツクツをもとにした風づくりの指導をしていただきました。大変人気もあ

つといて用意した二百組の凧もあつという間になくなってしまいました。また、ダンボール箱や

買った物袋など日常どこでもあるものを使って作るユニークな

品を指導していただいた宇根さん、昔ながらの生活のなかでは

なくてはならなかった藁草履の指導をしていただきました橋本

さん、前広さんは一日中子供の対応に追われていました。

シャボン玉や竹馬、竹細工のコーナーでは子供達が思い思いの作品に挑戦していました。

る話に加えて、ソフトな語り口のためか、非常に分かりやすい話でした。氏の話は、まず「自分から行動する」ということと、「自分のアイデンティティーを分散

させる」、つまりいろいろなことに目を向ける必要を盛んに解いておられました。そのほか、三原氏、寺尾氏の話も、経験談を中心とした話で、ユネスコの活動で色々と苦勞さ

れていることがよく分かりました。

翌日はテーマに分れてのグループ・ディスカッションがありました。私のグループは、「街角路上ウォッチング」と称

して、萩の観光地と山口の商店街を実際に見て回りながら比較し、そこから街の美観について

考えました。萩は、美しい街を残すために様々な配慮をしているのに比べて、山口は西の小京

都の名に恥じる面も多々ありました。はつきり言って汚らしげなものが多かった。それを基に作成した自己行動プランのなか

で、わたしは、広島において、美観を損ねる過剰な広告、障害物を一掃し、そのために「広島街並みを考える会」を発足させ、

広告を規制する条例を作る努力をするという夢のあるプランを作りました。

交流会では、西日本を中心に各地で活動されているユネスコ協会の会員の方々と交流しました。皆、それぞれ思いを持ちながら活動されていることを知り、ユネスコの具体的な活動をあまり知らなかった自分にとっては随分刺激になりました。

私自身、今回の研修の中で、日頃あまり顧みることのなかった自分自身の考え方をまとめるきっかけにもなりました。実のところを言いますと、私はユネ

スコ協会の会員ではありませ

ん。しかし今回の研修は色々な点に生かせると思います。現在主に活動を行っている青年活動やユースホステルの活動も含めて、今後の自分に生かして行きたいと思っています。

(広島市青年団体連絡会議会長)

## 国際交流サロン開く

第46回サロン「日・タイ・カルチャーショック」多田チャニントン・日タイ友好協会常任理事。(11月20日・アンデルセン)

第47回サロン「インドネシアの教育と文化」小池誠・広大助教授(1月22日・中央公民館)

第48回サロン「アジアの素顔がやさしい」渡辺茂美・中国放送アジアピースロード・チーフプロデューサー(2月26日・青少年センター)

## 竹沢さん大臣表彰

当協会理事竹沢臣子さんは、長年にわたる優れたPTA活動の功勞に対して、文部大臣表彰を受けられ、昨年12月9日広島市のホテルで祝賀会が催されました。広島ユネスコ伊東亮三副会長ら約二百人が出席して喜びを共にしました。

# 北京ユネスコ代表团広島訪問記

常任理事 古田 碩 永

広島ユネスコ協会は、昨年10月10日から3日間、北京ユネスコクラブ協会の代表团一行7名を広島に迎え、当協会会員をはじめ、多くの方々の交流を深めました。

### ◇第1日目(10月10日)

広島駅到着(15:51)後、宿舍(国際青年会館)にて旅装を解き、夕方当協会役員との夕食会。

来日後、京都市で一泊したせいか、さほどの緊張はみえなかったものの、当協会のメンバーとは初対面のことでもあり、少しとまどいぎみの感じでした。しかし、夕食会では、加藤副会長のユーモアあふれる歓迎の挨拶



もあつてなごやかに歓談がなされていきました。

### ◇第2日目(10月11日)

午前中、原爆資料館見学、原爆慰霊碑献花、平和公園見学、原爆ドーム見学。午後、中国放送見学、アジア競技大会前年祭

「ヒロシマファンタジア」(広島城址公園)におけるRCCラジオ公開生放送「なんでもジョッキー」に出演、夕方、歓迎レセプション(アステールプラザ)。

原爆資料館では、一面焼野が原になった市街地のパノラマや人的被害、爆風による被害、熱線による被害、放射能による後遺症などの展示を食い入るように見つめ、顔をしかめています。退館時には、全員が平和への思いを一生懸命、記名帳に記していました。

慰霊碑では、文団長が献花した後全員が黙禱をして、犠牲者の冥福を祈っていました。とくに、「過ちを繰り返させぬから」の碑文の説明にはみんな頷いていたのが印象的でした。ラジオの公開放送出演は、ほとんど飛び入りに近いものでし

たが、文団長は、「アジア競技大会が、この美しい平和都市広島で開催されることはすばらしい。アジア諸国から多くの方が来て平和の尊さを感じることは意義深いことです。北京でもアジア競技大会が開催されましたが、それ以上のすばらしい大会になることでしょう。成功を祈ります」と、広島市民に熱いメッセージを送っていました。

歓迎レセプションには、当協会から40名の会員と8名の中国からの留学生が参加。幾つかのグループに訪問団員が入って留学生の通訳によって歓談がはずんだりして、交流が深められました。文団長が「皆さんの温かい歓迎に感謝します。このような交流がさらに双方の発展を促します」と挨拶し、加藤副会長に記念の掛け軸を贈呈して会を終了しました。

◇第3日目(10月12日)  
午前中、広島大学付属東雲小・中学校訪問、広島市池田正彦教育長表敬訪問及び同教育長主催歓迎昼食会。午後、マツダ本社工場見学、16:29広島駅出発。学校訪問、教育委員会訪問とも団員ほとんどが教育関係者ということもあって、熱心に質問などが飛び交っていました。とくに、学校では、北川建次校

長(当協会常任理事)の説明、授業参観、校内見学に時間の過ぎるのも忘れて少しも勉強しようとの熱意が感じ取られたものでした。



このプログラムで過去に訪じた温かいもてなしと異文化に接した驚きと感激、国際交流の重要性を忘れず、好印象をもって帰国したように、彼らもまた、広島を訪問したことを生涯の良き思い出とし、今後の日中友好のために尽力してくれることを確信しながら、「再見」を約して見送りました。今年当協会から中国を訪問いたします。きつと当地で熱烈歓迎をしてくれることでしょう。

## 広島アジア競技大会・10月開催

## アジアの人の和づくり

歯科一般  
**吉岡 医院**  
院長 吉岡 尊治  
広島市東区牛田本町2丁目6の10  
電話 228-0862 (駐車場有)  
青バス 牛田本町1丁目停留所前

ひじりがおか  
**聖ヶ丘 医院**  
院長 松原 博臣  
副院長 松原 歳枝  
広島市西区横川町3丁目10番26号  
TEL 082-294-1211

# ユネスコ・コンサート寄金を

## マヨール事務局長に託す

「ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争下の子供達にお贈りください。」

2月11日、パリのユネスコ本部の事務局長室でエリザベト音大学光井安子助教授からマヨール事務局長に寄金五十万円が贈られました。(写真)

この寄金は「今なお戦禍に戦く子供らをチャリティー・コンサートで救済しよう」という趣旨で昨年11月5日、広島国際会議場フェニックスホールで開かれた「ルーマニア国立ブカレスト・フィルハーモニー管弦楽団」公演を通じて集められたもので、広島ユネスコ協会も主催者に名を連ねてその成功のために尽力しました。

公演は満員の聴衆にモーツァルト、バッハなどの作品の名演奏を提供して演奏会としての成果を挙げる一方、「最低でも50万円を寄付したい」という光井助教授(公演では演奏者として出演)ら実行委員会の奔走によって目標を大きく超え、募金活動としても成功を収めて、今回の

贈呈式となったわけです。

なお、チャリティー寄金贈呈式は広島市民草の根国際交流代表団(一行10名)の公式スケジュールの一環として行われたもので、贈呈式に同代表団の団長、広島市池田正彦教育長とユネスコ本部広瀬晴子人事局長(広島市出身。公演と贈呈式のお膳立役)も同席しました。

同代表団副団長として同席した広島市国際交流協会山崎克洋事務局長(広島ユネスコ協会常任理事)は贈呈式に臨んだ感想を次のように述べています。

「広島ユネスコ協会としてささやかながら協力出来たことを事務局長に喜んで貰い、面映ゆ

## ユネスコ全国大会に参加して

副会長 伊東亮三

第49回日本ユネスコ運動全国

大会が、昨秋10月16、17の両日、福島市の福島県文化センターで開催された。テーマは「地球環境を考える——いま地球で何が



〈左から池田、マヨール事務局長、一人おいて広瀬、光井の各氏

化の継承の創造」であったが、今次は、人類の緊急課題である環境問題を取り上げ、基調講演、シンポジウム、青年「森、水、風のメッセージ」さらにフィード・スタディなどの全プログラムが環境問題で貫かれていたのが印象的であった。

本大会の特色は、基調講演の講師、シンポジウムのパネラー、コーディネイターのすべてが女性だったことである。

基調講演は、「地球環境を考える——エコロジーの世界観」と題して鶴見和子氏、高度エネルギー消費生活という「くらしの流儀を変える」こと、そして自然との「共生」を主張された。

シンポジウムは「女性の感性で地球環境を考える」であった。パネラーは著名な登山家田部井淳子氏、「WOMEN 1000」代表湯川れい子氏、「ラオスに絵本を送る会」代表チャントソン・インタヴォン氏、さらにコーディネイターは日ユ協連理事長代理尾花珠樹氏とすべて女性で、題目の通り女性の感性にもっぱら頼ったシンポジウムであった。

「森・水・風のメッセージ」は美しい福島市の自然の断章をスライドと語り、民話、音楽と踊りなどの多角的アプローチで夢の世界に誘ってくれた。

アジアの人の輪づくり 広島アジア競技大会・10月開催

### 松浦整形外科医院

院長 松浦 義和

大竹市立戸4-1-17  
☎ 08275-2-3236

### 木村神経科内科 クリニック

院長 木村 進 匡

広島市中区榎町3-1 (十日市電停西50m)  
電話 082-292-8381